米沢市報道資料

県内初の地場産業成長プランの策定について

令和８年11月26日
政策企画課 企画調整担当

電話 22-5111(内線2703)

このことについて、本市では、国が推進する「地域未来戦略」に基づき、市内の産業、地域経済の持続的な成長を図るため、「地場産業成長プラン」を策定し、本日開催された「地域未来戦略に関する関係副大臣等会議（第９回)」に米沢市長が出席のうえ、高市早苗内閣総理大臣に御報告しましたので、お知らせします。

記

１　本市が策定した地場産業成長プラン
・別紙のとおり

２　その他
・地域未来戦略に関する関係副大臣等会議（第９回）の議事次第・配布資料については、内閣官房地域未来戦略本部事務局ホームページにおいて、公表予定です。
（https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/chiikimirai/index.html）
・詳細については、11月27日(金)の定例記者会見で発表します。

県内初の地場産業成長プランの策定について

山形県米沢市では、政府が進める地域未来戦略に基づく「地場産業成長プラン」を県内で初めて策定しました。このことについて、近藤洋介市長が、11 月 26 日開催の「地域未来戦略に関する関係副大臣等会議（第９回）・地域未来戦略に関する総理報告」において「情報・エレクトロニクス関連産業」及び「繊維関連産業」の２分野を対象とした地場産業成長プランを公表し、高市総理に報告しました。

１　地域未来戦略の概要

・政府では、強い地域経済の構築等を目的に「地域未来戦略」を策定（令和８年７月 21 日閣議決定）。これに基づき、主に国が主導するＡ「戦略産業クラスター計画」、主に都道府県が主導するＢ「地域産業クラスター計画」（Ｂ計画）、主に市町村・都道府県が主導するＣ「地場産業成長プラン」（Ｃプラン）が順次策定・公表されている。
・計画は、国が毎月開催する「地域未来戦略に関する関係副大臣等会議・地域未来戦略に関する総理報告」において、国の事前確認を経た上で、首長が計画を公表・報告する形式となっている。

２　本市が策定した地場産業成長プラン（令和８年 11 月 26 日公表）

(1) 概要

No.	分野	概要
１	情報・エレクトロニクス関連産業	●東北初となる山形大学・産総研との連携体制「ブリッジ・イノベーション・ラボラトリ」により、研究開発・製品開発、産業人材の育成を推進し、競争力を強化 ●新たな産業団地を整備し、投資を呼び込み、情報・エレクトロニクスをはじめとした高付加価値な産業の誘致を推進
２	繊維関連産業	●質の高い繊維関連製品を主軸として、欧州を中心とするサステナブル市場への参入を目指す ●製造現場の職人だけでなく、EC、マーケティング、デザインなど多様な職種において就業者の増加を目指す ●製造工程のデジタル化や先進的な設備投資を促進

(2) 特徴

✔地場産業成長プランの策定は、山形県内初となります
✔地場産業成長プランで２つ同時の策定は、全国の市町村初となります
✔地場産業成長プランで工業分野における策定は、東北の市町村初となります

３　近藤市長から高市総理への報告要旨(於：首相官邸)

・米沢市は、江戸時代に上杉城下町として栄え、約 250 年前に上杉鷹山公が奨励した「米沢織物」を基幹産業として、今日まで先端産業が集積するとともに山形大学工学部が立地し、県内製造品出荷額第一位となるまでに発展を遂げてきました。
・今回発表する「情報・エレクトロニクス」及び「繊維産業」の２分野は、工業都市としての歴史と発展を象徴する産業であります。
・「情報・エレクトロニクス」プランでは、東北初となる山形大学・産業技術総合研究所との連携体制「ブリッジ・イノベーション・ラボラトリ」により、研究開発力の強化と高度産業人材の育成を進めるほか、新たに産業団地を整備して投資を呼び込み、地域経済の成長を進めてまいります。強力なご支援をよろしくお願いいたします。

４　今後の方針

米沢市では、今後、国が年末までに策定する予定の複数年度予算「地域未来戦略実現フレーム」（仮称）や県の「地域未来基金」などを活用し、企業等の支援やインフラ整備を行うことで地域の産業と経済の持続的な成長を進めてまいります。

５　他自治体の策定状況（令和８年 11 月 26 日時点、米沢市調べ）

（1）全国

地域産業クラスター計画：　89 計画・50 自治体
地場産業成長プラン：　　47 計画・38 自治体

（2）東北管内

地域産業クラスター計画　14 計画・５自治体
山形県２件（半導体、バイオ）、岩手県３件、宮城県２件、秋田県３件、福島県４件
地場産業成長プラン　　９計画・６自治体
米沢市（情報・エレクトロニクス、繊維）、岩手県（養殖サーモン、ウニ）、宮城県（ギンザケ・マガキ、いちご）、男鹿市（酒づくり）、福島県（牛肉・馬肉）、郡山市（食・観光）

山形県米沢市　情報・エレクトロニクス関連分野における地場産業成長プランの概要

１．支援する分野　情報・エレクトロニクス関連分野

２．支援する地域及び核となる事業者

・米沢市八幡原、アルカディア、窪田、下花沢、花沢、南原
・サクサテクノ(株)、(株)ソアー、ＮＥＣパーソナルコンピュータ(株)米沢事業場、ルネサス エレクトロニクス(株)米沢工場、ＡＧＣディスプレイグラス米沢(株)、並びにこれらの企業の周辺に集積する関連事業者（サプライヤー企業等）
・米沢商工会議所工業部会、米沢市電子機器機械工業振興協議会、八幡原企業協議会、米沢オフィス・アルカディアクラブに加盟する情報・エレクトロニクス関連企業
・本市が今後造成する新たな産業団地へ立地する情報・エレクトロニクス関連企業
・山形大学（支援機関）



（山形大学工学部）
産総研と連携し、情報・エレクトロニクス関連産業の発展に寄与する「融合材料プロセスの開発」をテーマとした「ブリッジ・イノベーション・ラボラトリ（ＢＩＬ）」を展開し、企業の研究開発を支援



（新産業団地整備予定地）
米沢北インターチェンジ周辺に、本市のものづくりを牽引する新たな産業基盤の構築を目指すべく、新たな産業団地の整備を推進

３．目指す姿（目標）

情報・エレクトロニクス関連分野をはじめとするものづくり関連産業全体の粗付加価値額並びに労働生産性の向上を目指す。

【現状】
2025年経済構造実態調査
・粗付加価値額：1,039億円
・労働生産性：3,017万円

【目標】
10年後の2035年経済構造実態調査
・粗付加価値額：1,266億円
・労働生産性：4,200万円

４．勝ち筋

山形大学・産総研との連携（BIL）により、研究開発・製品開発、産業人材の育成を推進し、情報・エレクトロニクス関連分野の競争力強化を促進する。併せて、既存の産業団地や新たな産業団地への情報・エレクトロニクスをはじめとした高付加価値な産業の誘致を推進する。

【取組の具体像】
①山形大学・産業技術総合研究所との連携による研究開発力の強化と高度産業人材の育成
②サステナブルエレクトロニクス関連事業の促進
③産業人材育成及び定着促進に係る取組の推進
④新規販路開拓の推進
⑤企業誘致の推進
⑥産業団地の造成による新たな産業基盤の創出
⑦事業者による新たな設備投資計画

５．政策手段

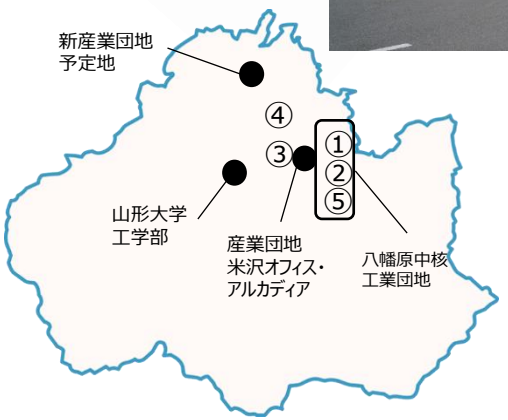
①情報・エレクトロニクス関連事業者に対する伴走支援体制の整備
本市を窓口として、米沢商工会議所、山形大学、産業技術総合研究所などとの産学官連携により、市内ものづくり事業者へ各種支援を実施する。

②新産業創出に向けた企業誘致及び新たな産業基盤の整備
本市では、これまでに引き続き研究開発型企業の誘致に取り組むとともに、新たな産業基盤として「新産業団地」の整備を推進する。

山形県米沢市　情報・エレクトロニクス関連分野における地場産業成長プランの概要

核となる事業者
①サクサテクノ(株)、②(株)ソアー、③ＮＥＣパーソナルコンピュータ(株)米沢事業場、④ルネサス エレクトロニクス(株)米沢工場、⑤ＡＧＣディスプレイグラス米沢(株)、並びにこれらの企業の周辺に集積する関連事業者（サプライヤー企業等）
・米沢商工会議所工業部会、米沢市電子機器機械工業振興協議会、八幡原企業協議会、米沢オフィス・アルカディアクラブに加盟する情報・エレクトロニクス関連企業
・本市が今後造成する新たな産業団地へ立地する情報・エレクトロニクス関連企業
・山形大学（支援機関）





核となる地域
八幡原、アルカディア、窪田、下花沢、花沢、南原


①サクサテクノ(株)


②(株)ソアー



⑤ＡＧＣディスプレイグラス米沢(株)



③ＮＥＣパーソナルコンピュータ(株)米沢事業場


④ルネサス エレクトロニクス(株)米沢工場

山形県米沢市　繊維分野における地場産業成長プランの概要

１．支援する分野　繊維分野

２．支援する地域及び核となる事業者

・米沢市中央、門東町、城南、城西、通町、東、福田町、本町、春日、南原、御廟、窪田、成島町、舘山、下花沢、松が岬、大町、金池、西大通、吾妻町、城北、広幡、花沢町、下小菅、アルカディア
・米沢繊維業議会会員企業
・米沢商工会議所工業部会員の繊維関連企業
・米沢ファッションベースキャンププロジェクト推進協議会
（東北整練（株）、青文テキスタイル（株）、（株）安部吉、（株）糸商ワタナベ、黒田織物(有)、(株)ソトージェイテック佐隆事業部、(株)nitorito）

◎米沢の質の高いものづくり製品を主軸に国内国外、和装洋装にこだわらない様々な分野への挑戦
◎デジタル化による省人化を進めながらも、職人となる人だけでなくＥＣ、マーケティング、デザイン等多様な職種の人材を雇用



市場参入、開拓のための支援
先端技術の活用推進に向けた支援
多様な人材採用の推進に向けた支援

将来像
・繊維産業における労働生産性（一人当たりの粗付加価値額）の増額とデジタル化による生産性の向上、域外からの外貨獲得による経済の好循環
・多様な職種により、若者やクリエイティブ人材が活躍できる

３．目指す姿（目標）

・繊維産業における労働生産性（一人当たりの粗付加価値額）の増額を目指す。
・デジタル化による生産性の向上を目指す。
・域外からの外貨獲得による経済の好循環を目指す。
・多様な職種によって、若者やクリエイティブ人材が活躍できることを目指す。

【現状】
2025年経済構造実態調査
・労働生産性：約412万円

【目標】
５年後の2030年経済構造実態調査
・労働生産性：約462万円
10年後の2035年経済構造実態調査
・労働生産性：約512万円

４．勝ち筋

本市の質の高い繊維関連製品を主軸として、欧州を中心とするサステナブル市場への参入を目指し販路開拓を進めていく。

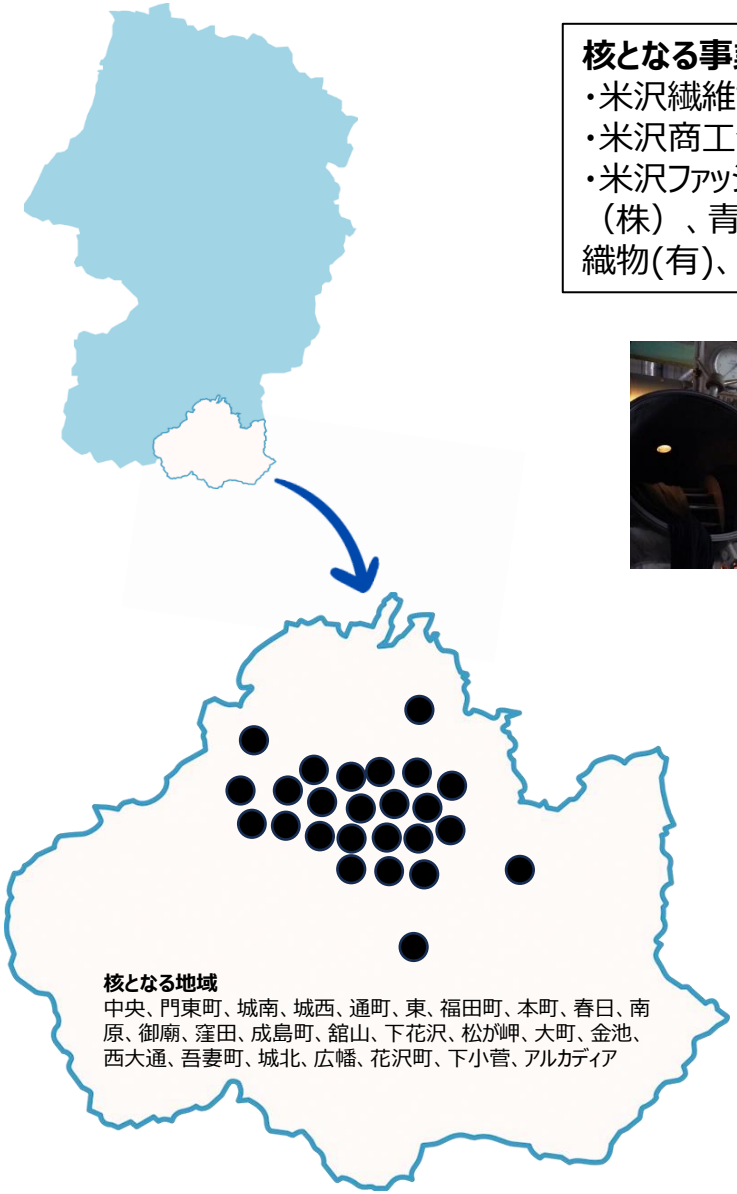
これまでも、米沢ファッションベースキャンププロジェクト推進協議会内において、海外販路を見据えてグローバルファッションの現状分析や、外国人バイヤーを招聘しての勉強会などを実施しており、さらに、和装・洋装両分野における新たな製品開発や多様な分野への挑戦を行うことにより、繊維産業の高付加価値化を促進する。

加えて、製造現場の職人だけでなく、ＥＣ、マーケティング、デザインなど多様な職種において就業者の増加を目指すとともに、製造工程のデジタル化や先進的な設備投資の促進を図ることで、本市繊維産業全体の活性化につなげていく。

５．政策手段

①本市を窓口とした関係団体との連携による伴走支援の実施
②国際認証の取得について共同認証制度の活用の検討や認証基準をクリアするための取組についての研究
③海外の富裕層に本市の繊維製品の魅力が的確に伝わるようなブランドストーリーやハイブランドへのコネクションの構築を行うため、外部専門家の活用を検討
④経営者と現場の職人が技術のデータ化・自動化することについての必要性を認識する機会として、経営者だけでなく、現場の職人にも向けたセミナーや研修会の開催
⑤工場及び事業のデジタル化・省人化を進めるために各種補助金等の活用を促進

山形県米沢市　繊維分野における地場産業成長プランの概要



核となる事業者
・米沢繊維協議会会員企業
・米沢商工会議所工業部会員の繊維関連企業
・米沢ファッションベースキャンププロジェクト推進協議会会員企業（東北整練（株）、青文テキスタイル（株）、（株）安部吉、（株）糸商ワタナベ、黒田織物(有)、（株）ソトージェイテック佐隆事業部、（株）nitorito）









